



笑顔とやる気いっぱいの七中 生徒自らが常に鍛え続ける七中

七中だより



第 3 号 中野区立第七中学校 《学校だより》

令和6年5月29日

ストランドビーストの進化

校長 上村 諭

ゴールデンウィークに静岡県立美術館に行ってきました。考える人や地獄の門で知られるロダンの作品が多数所蔵されていることで有名な美術館ですが、今回の目的は企画展の「テオ・ヤンセン展」です。テオ・ヤンセン氏はオランダの現代アーティストで、彼の作品「ストランドビースト」を実際に見て、体感できる展覧会でした。

ストランドビーストとは、オランダ語の strand (砂浜) と beest (生き物) を合わせた造語で、無数のプラスチックチューブを複雑に組み合わせて作られた、風を受けてまるで生き物のように動く巨大な造形作品 (人工生命体) です^{※1}。オランダは海拔が非常に低く「海面上昇の危機にさらされる、故国の海岸に広がる砂浜を、自立的に砂を積み上げるシステムによって守れないか」^{※2} というのが、作品を制作するきっかけのアイデアでした。そして「最終的にはひとりで生きられる動物を作りたい」と、新しい作品を実際に砂浜で動かし、試行錯誤をしながら進化を目指しています。

例えば、受けた風の力を貯めておける胃袋 (ペットボトル) や、強風に飛ばされないように自らの体を砂浜に固定する杭とそれを打ち付けるハンマー、海に入っていつまでも水を感じると方向転換するセンサーなど、数々の進化を遂げてきました。

進化をしていくなかで、アスペルソリウム期^{※3}に属するビーストの主な進化は「しっぽ (尾)」^{※4}でした。2匹のビーストがしっぽを振り合う姿はどこか求愛し合っているように見えますが、当然ビースト自身がほかのビーストを惹きつけたり、子どもを産み育てたりすることはできません。

では、このしっぽにはどのような意味があるのでしょうか？

ビーストがコミュニケーションをとろうとしているのは、ビースト同士ではなくその動画を見る私たち人間なのです。ヤンセン氏は、私たちがその愛らしい様子に惹かれることで、ストランドビーストに興味をもつ人が増えると考えました。実際に彼は、ストランドビーストの原理をウェブサイトで公開し、興味をもった人が自由に制作できるようにすることで、ビーストを「繁殖」させているのです。

このように私も、ストランドビーストの形容しがたい動きに魅せられ、静岡からミニビーストたちを連れて帰ってきました。今、校長室の前で飼育しています。皆さんも興味をもったら、彼らの大好物である「エサ (風)」をあげに来てください。保護者の皆様もぜひどうぞ。

(5月全校集会の講話から)

※1 <https://www.youtube.com/@strandbeestfilm>



※2 静岡県立美術館 テオ・ヤンセン展HP [ダウンロード] のプレスリリース
<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/exhibition/detail/103>



※3 テオ・ヤンセン氏は時代ごとに名前を付けており、しなやかな尾の動きが実現した2012年を「アスペルソリウム期」と呼びます。

※4 山梨県立美術館「テオ・ヤンセン展」(富士の国やまなし ch.)
<https://www.youtube.com/watch?v=aTz9zdyO7bl>



お知らせ

第78回運動会のお知らせ

SumaMachi でお知らせしたとおり、6月1日（土）に第78回運動会を開催いたします。
詳細な「プログラム」や「参観にあたってのお願い」は別途に配布しております。
生徒の活躍する姿をどうぞご覧ください。

実施日

- [日にち] 令和6年6月1日（土）
- [時間] 午前8時45分から午後3時15分
- [雨天時] 6月1日が雨天の場合 6月4日（火）に実施
6月4日が雨天の場合 6月6日（木）に実施

体育館の開放について

待機場所として、体育館を開放いたしますので、休憩場所、昼食場所としてご利用ください。

- 靴は脱いでお入りいただくため、下足袋をご準備ください。
- 飲食をしていただいても構いませんが、ゴミはお持ち帰りください。
- 太鼓等の運動会用品や体育用品が置かれていますので、絶対にお手を触れないようお願いいたします。特に、小さなお子様のいらっしゃるご家庭は十分にご注意ください。

地域・PTAからの協力について

3年生の演技種目において、地域やPTAからご協力いただいています。
太鼓を江古田四丁目町会、旭公民館町会 及び 輝鼓会から、法被を旭公民館町会からお借りしています。また、本校PTAには法被の手配とクリーニングをお願いし、クリーニング代の負担を考慮して一部補助をしていただいております。
生徒が精一杯に表現できる場をご支援いただき、ありがとうございます。

江古田図書館の放課後利用

放課後の下校途中での江古田図書館利用について、検討をしているところです。
利用方法としては「資料や図書の借り受け等の短時間利用」とし、閲覧席は少ないことから「図書館資料を使って調べるときのみ利用」と限定します。
図書館の放課後利用の詳細については後日お知らせいたしますが、最終下校時刻以降の利用も考えられることから、利用の際にはお子様と帰宅時間などの確認をして、安全に安心して利用ができるようご協力をお願いいたします。

非常食について

生徒が在校中の災害に備えて、非常食（アルファ米）と水を購入させていただきます。
学校で保管し、卒業時に返却いたしますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

中野区保幼小中連携教育の日

5月15日（水）に「小中連携教育協議会」が開催されました。これは保幼小中学校の15年間の学びの連続性を構築するために、年2回開催されるものです。

第七中学校区では「主体的な学習に取り組む児童・生徒の育成」をテーマとして設けています。
今回は、江古田小学校 及び 江原小学校の教員が本校の授業を参観し、生徒の成長の様子をみたく、明星大学 教育学部の北島 茂樹 教授から講演をいただきました。

小中学校の教員が児童・生徒の課題について共通理解をし、共に研修をすることで、積極的な連携を図っています。